

授業科目名	英語 (2000002)		
時間割名	英語 (31102)		
時間割担当	森基雄		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	水・1		

授業の目標・概要

「英語」に引き続き、基本的な文法および語彙の習得に力を注ぐとともに、英語の考え方やルールの背後にある文化的背景をも学ぶ。また、さまざまな場にあふさわしい英語表現があることを知り、将来どのような場においても適切なコミュニケーションができるように、豊富な演習問題を通じて実践力を養っていく。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランス良く伸ばすために、発音やリスニングに加えて、英作文や簡単なプレゼンテーションの練習も取り入れ、オールラウンドな英語運用能力の養成を目指す。

学習の到達目標

「英語」に続いて、文法事項の確認と語彙力の強化により、「書く」「話す」という発信的な力をさらに発展させるのが目標。

授業方法・形式

印刷した教材を配布し使用する。

授業計画

- 第1回 ある環境保護運動家の話(1)
- 第2回 ある環境保護運動家の話(2)
- 第3回 ある環境保護運動家の話(3)
- 第4回 ある環境保護運動家の話(4)
- 第5回 ある環境保護運動家の話(5)
- 第6回 ある環境保護運動家の話(6)
- 第7回 外国人との英文メールのやり取り(1)
- 第8回 外国人との英文メールのやり取り(2)
- 第9回 外国人との英文メールのやり取り(3)
- 第10回 外国人との英文メールのやり取り(4)
- 第11回 外国人との英文メールのやり取り(5)
- 第12回 外国人との英文メールのやり取り(6)
- 第13回 外国人との英文メールのやり取り(7)
- 第14回 試験前指導
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

定期試験(70パーセント)、平常点(30パーセント)が原則。ただし規定により、欠席回数が限度を超えると採点の対象外となる。また大幅な遅刻は出席扱いとはしないので注意してほしい。

授業時間外の課題

配布したプリントの英文の意味を前もって辞書で調べ、自分なりのノートを作ってほしい。そうすることが、主に語(句)を対象とした授業中の理解度チェックのミニテストの得点向上、そして何よりも授業に対する理解力の向上と確実な単位取得につながるはずである。そして復習も忘れずに。

メッセージ

配布したプリントは必ず持参して受講すること。毎回出席を取る。授業中の私語、携帯電話の使用は禁止。辞書を携帯し使用する習慣をつけてほしい。

教材・教科書

配布するプリント教材。

参考書